

学校名	福島県立喜多方高等学校	校長	遠藤 利晴
住所	福島県喜多方市字桜が丘一丁目129番地		
TEL	0241-22-0174	URL	https://kitakata-01-h.fcs.ed.jp

【きたかた・グローバル・リサーチ】始動

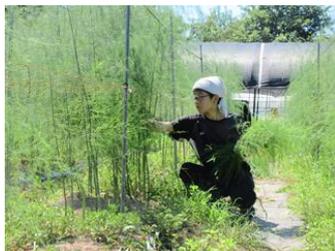
喜多方高等学校は、旧喜多方高等学校と旧喜多方東高等学校が統合し令和3年度に開校した、県内初となる普通科単位制高校です。アドバンスト探究コース、スタンダード探究コース、キャリア探究コースの3つのコースを設け、生徒たちは進路実現を目指し学びを始めました。

取組の概要

全コースを貫く地域の課題をグローバルな視点から考える「きたかた・グローバル・リサーチ」（総合的な探究の時間）もスタートさせました。喜多方市役所、大学、企業等との連携（地域人材等の活用）を図りながら、地域の課題をSDGsの視点や大学における専門的な学びの視点とつなげることにより、主体性、思考力、判断力、表現力の育成を目指します。

【1 地域連携探究活動】・・・夏季休業中に1・2年生の希望者が参加

プログラム	内容
喜多方の名産アスパラの現場を体験する	喜多方の名産であるアスパラの収穫体験を通して、農業の楽しさや厳しさを体感する。
循環型社会を目指して～SDGsの最前線～	喜多方市の生活を支える荒川産業でリサイクル業と喜多方が向き合うSDGsについて学ぶ。
地域コーディネーターと回る西会津①～アート編～	西会津のアートを牽引する国際芸術村を見学し和紙の再生を通して地域興しについて学ぶ。
地域コーディネーターと回る西会津②～小商い編～	「小商い」「個人で作る公共空間」をテーマに地域で起こすプロジェクトについて考える。



感想

○「喜多方の名産アスパラの現場を体験する」
農作業の合間に、「農業の楽しさを多くの人に知ってもらい、若い農家さんが増えてほしい。」という思いのこもった話を聞いた。私たち高校生も家の畑仕事を手伝うことで、地域の活性化に繋がるのではないかと思います。

○「循環型社会を目指して～SDGsの最前線～」
利益を地域に助成金として還元していると聞き、とても勉強になりました。また、プラスチックとペットボトルを捨てる時の見分け方を教えていただいたので、実践してみたいと思います。「混ぜればゴミ、分ければ資源。」という言葉が心に残りました。

【2 異文化理解と情報発信】

喜多方市熱塩加納町在住で異文化について様々な情報を発信しているヤマグチ・マイケルさんに特別講演会を行っていただきました。みんなが考える喜多方の魅力について話し合い、その後、英語での発信のしかたや写真を撮るアングル、動画作成の技術など、自ら作成した動画を交えて英語で講義していただきました。

感想

喜多方市の1つの魅力が喜多方の1つの歴史につながっているなど、今まであまり考えることがなかった。

動画の撮り方一つにいろいろな工夫をされていてすごいと思った。私も生まれた喜多方の美しいところなどを動画、写真などで残してみたいと思いました。



作成

西暦2021年12月